

平成 15 年 12 月 9 日

各 位

会 社 名 西日本旅客鉄道株式会社  
代表者名 代表取締役社長 垣内 剛  
(コード番号 9021 東大名福)  
問合せ先 広報室長 来島達夫  
(TEL . 06 - 6375 - 8889)

## 大阪駅改良・新北ビル開発計画について

大阪駅北地区は、全国的に見ても「都心に残された最後の一等地」であり、関西の再生をリードする新しい拠点として期待されている地区であります。これまで、「大阪駅地区都市再生懇談会」や国際コンセプトコンペが開催され、これらを受け、本年 10 月には大阪市よりまちづくりの基本的な方向性を示す「大阪駅北地区全体構想」が発表されるなど、当地区におけるまちづくりの機運が急速に高まってきております。

JR 西日本では、この地区の整備に先駆け、西日本最大のターミナルである大阪駅を将来にわたって大阪の玄関口にふさわしい、快適で利便性が高く、賑わいのあるターミナル拠点として整備すべく検討を進めてまいりました。その中で、「大阪駅北地区全体構想」に示されたまちづくりの方向性なども踏まえ、「抜本的な駅改良」、「通路・広場の整備」、並びに「新北ビル開発」を柱とする基本的な計画がまとまりましたのでお知らせいたします。

今後、まず駅の改良工事に着手するとともに、新北ビル開発計画については、大阪市等との調整のもと、北地区の都市計画と連携を図りながら、具体化に向けた取組を進めます。

### 計画概要

#### (1) 駅改良

北地区等の周辺整備動向を踏まえ、長期的な視野に立ち、混雑緩和、乗換え利便性、バリアフリー等の観点からお客様の流れや駅構造を大幅に見直し、ご利用しやすい駅に改良するとともに、将来にわたり大阪の玄関口にふさわしい快適で魅力あふれる駅空間を創出します。

##### ・駅中央部に橋上駅舎の新設

後述の南北の通路整備にあわせ、線路上空に橋上駅舎を新設し、各線の乗換え利便性の向上と混雑緩和を図るとともに、大阪駅から北地区への円滑なアクセスルートを整備します。

##### ・改札内コンコースの改良

各改札内コンコースの拡幅等により、混雑緩和と快適な駅空間づくりに努めます。特に最もご利用の多い御堂筋口については、中 2 階通路を撤去し、コンコースをフラット化するとともに、エスカレーターを多数設置するなどして、コンコースやホーム上の混雑緩和を図ります。

- ・バリアフリー設備の充実

橋上駅舎の新設やコンコース改良により、改札内ではエスカレーターを現行の 21 台から 76 台に増やします。また、エレベーターについては 5 台から 13 台に増やし、上下移動に対する利便性を飛躍的に向上させます。

- ・ドームの新設

ホーム上にドームを新設し、アクティ大阪、新北ビル、橋上駅舎とホームの一体感を演出することにより、快適で魅力あふれる駅空間を創出します。

(2) 通路・広場の整備

「大阪駅北地区全体構想」の歩行者ネットワーク計画を踏まえ、駅周辺の回遊性を高めるため、新北ビル内と駅上空に歩行者通路や広場を整備します。

- ・駅前広場と直結するビル内広場・通路の整備

新北ビルの 1、2 階に駅前広場とつながる広場を整備します。これらの広場から北地区、阪急梅田駅、及び地下鉄梅田駅への歩行者通路を整備し、北地区周辺の回遊性を高めます。このうち、2 階の広場にはシンボルとなるアトリウム空間を設けます。

- ・駅南北をつなぐルート及び屋上プラザの整備

橋上駅舎の新設にあわせて、駅南の地下通路からアクティ大阪を經由して、北地区につながるルートを確認し、駅南北の一体化を図ります。さらに、橋上駅舎の屋上を利用して、ドームとの一体感を醸し出す屋上プラザを整備し、ドーム内を見渡す開放的な広場空間を創出します。

(3) 新北ビル開発

線路使用形態の見直しにより、現行の 10、11 番線を廃止のうえ撤去し、土地の高度利用を図るとともに、上記広場の上空を重層的に利用して、駅と駅前広場を一体化する新しい北ビルを建設します。このビルにはキーテナントの三越のほか、専門店、オフィスなどが入る予定です。これら各施設の機能が融合し、幅広いお客様に支持される開発を目指し、北地区のリーディングプロジェクトとして新たな賑わいの拠点づくりに努めます。

総事業費（JR 西日本グループ全体）

約 1 5 0 0 億円

スケジュール（予定）

- ・平成 16 年春 駅改良工事着手
- ・平成 18 年秋 新北ビル工事着手
- ・平成 23 年春 新北ビル開業、通路・広場及び橋上駅舎等使用開始（グランドオープン）
- ・平成 23 年冬 ドーム竣工

以 上

【参考】 計画の規模等は想定であり、今後の行政協議及び設計により変更することがあります。

#### 駅改良の概要

項目	改良内容	
橋上駅舎新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みどりの窓口、改札の新設</li> <li>・乗換通路（幅員約 10m）の新設</li> <li>・各ホームにエレベーターとエスカレーターの新設</li> </ul>	
改札内コンコースの改良とバリアフリー化	中央口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環状線ホームの中 2 階付近を拡幅</li> <li>・新北陸線ホーム（ 5 号ホーム）にエスカレーターの新設</li> </ul>
	御堂筋口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中 2 階通路を撤去し、改札内コンコースを拡幅</li> <li>・エスカレーターの新設とエレベーターの増設</li> </ul>
	桜橋口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改札～中 2 階付近を拡幅</li> </ul>
ドーム新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドーム新設（延長約 160m × 幅約 105m）</li> <li>・ホーム上家改築（ドーム範囲以外）</li> </ul>	

改札内昇降設備の増強	エスカレーター	現状 2 1 台	計画 7 6 台
	エレベーター	現状 5 台	計画 1 3 台

#### 通路・広場の概要

項目	改良内容
ビル内広場 ・通路整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広場 1 F：約 4,000 m<sup>2</sup>、2 F：約 1,500 m<sup>2</sup></li> <li>・通路 ビル B 1 東西・南北通路、ビル 2 F 東西通路</li> </ul>
南北ルート・ 屋上プラザ整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南北連絡通路：有効幅員約 6～12m</li> <li>・屋上プラザ：延長約 100m × 幅員約 40m</li> </ul>

#### 新北ビルの概要

- (1) 延床面積 約 200,000 m<sup>2</sup>  
 (2) 用途 百貨店：約 90,000 m<sup>2</sup>、専門店：約 40,000 m<sup>2</sup>、オフィス：約 45,000 m<sup>2</sup>  
 集客施設：約 10,000 m<sup>2</sup>、駅関連施設：約 15,000 m<sup>2</sup>  
 別途駐車場棟を計画

#### 大阪駅現北ビルの概要

- (1) 構造・階数 鉄骨造（幅約 9m × 長さ約 250m）地上 5 階建  
 (2) 延床面積 10,500m<sup>2</sup>  
 (3) 用途 駅長室等事務室、休養室、店舗、機械室他

#### 大阪駅の歴史

明治 7 年 5 月 初代大阪駅誕生（大阪～神戸間の鉄道開業）  
 明治 34 年 7 月 2 代目大阪駅開業  
 昭和 15 年 6 月 3 代目大阪駅開業  
 昭和 54 年 12 月 4 代目大阪駅（現北ビル）開業  
 昭和 58 年 5 月 アクティ大阪（大阪ターミナルビル）開業

#### 他駅ビルの規模、概要（JR西日本グループ）

京都駅ビル 延床面積：238 千 m<sup>2</sup> 用途：百貨店(JR 伊勢丹)、ホテル、専門店、劇場 他  
 アクティ大阪 延床面積：138 千 m<sup>2</sup> 用途：百貨店(大丸)、ホテル 他